令和２年度　国語科

教科	国語	科目	前期：国語総合 後期：国語総合・古典Ｂ	単位数	前期 国総：２ 後期 国総：2古Ｂ：１	年次	１年次
校内名称	古典			ユニット数	前期2.5/後期3.0	必選別	必
使用教科書	高等学校国語総合　古典編（三省堂）						
副教材等	体系古典文法（数研出版）、精選漢文（尚文出版）、力をつける古典ステップ２（数研出版）、原色小倉百人一首（文英堂）、新国語総合ガイド 五訂版（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典は偉大な先人達の、歴史の波に揉まれながらも残った素晴らしい言葉であり、現代の我々が読んで未来への糧とするものである。「昔も現代と同じだ」「昔は現代とこんなに違うのか」など、いろいろな感想を持ちつつ様々な価値観を知り、人間について深く考えてほしい。また国際化が進む現代だからこそ、日本の文化やその源流にある文化について学び、異なる文化をもつ人々に自分を語れるようになってほしい。

ある意味外国語なので、英語と同じように勉強するとよい。つまり予習・授業・復習のサイクルを守り、毎日触れるのである。最初は苦しいが、読めるようになると面白いし楽しい。

予習…音読して本文を写し、辞書・文法書・漢文学習書などを使って訳してみる。完全な訳でなくていいので、「どこが分からないのか」「何がわかれば訳せるのか」を把握しておく。
授業…集中して授業に参加し、自分の頭で考え、板書していなくても必要なことはノートに書く。
復習…その日のうちに、ノートを見ながら内容を確認し本文を音読する。しばらく経ってからまたノートを見返して、重要事項の確認や音読をする。

音読や暗唱をすることは、古典のリズムや言語感覚を身体で捉えることに繋がり、読解のための一番の近道となる。また辞書は、言葉の持つそれぞれの歴史や物語を覗くことができ、教養を深めるために大切である。初めは面倒に感じても、音読や辞書を引くことを習慣にしてしまおう。

2　学習の到達目標

古典の作品を自力で読解できるようになるのには時間がかかる。いくつもの段階を踏んで、３年間かけてなんとか読めるようになってくるものである。最初の１年は重要文法事項や重要漢文句形などの基本を、きちんと身につけることが到達目標となる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:話す･聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識･理解
観点の趣旨	言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。			文章を的確に読みとり、自分の考えを深め、発展させている。	言語や古典文学について理解し、知識を身につけている。
評価方法	授業態度、提出物			定期考査、小テスト	定期考査、小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９０％程度、平常点１０％程度です。

【評定の出し方】前期は「現国」と「古典」を合算して「国語総合」として成績を算出するが、後期は「国語総合」「古典Ｂ」として成績を算出する。

4　学習の活動

期間	単元名	学習内容(授業教材)		主な評価の観点					単元(題材)の評価基準	評価方法
		古文	漢文	a	b	c	d	e		
前期中間考査まで	読解の基礎	○古文入門 「宇治拾遺物語」 ・絵仏師良秀 「徒然草」 ・丹波に出雲といふ所あり ○体系古典文法 ・古典文法入門 ・活用のある自立語 ○問題集	○漢文入門 「訓読の基本」 「故事成語」 ・蛇足 ○精選漢文 ・基礎編 ・再読文字 ・句法編 （疑問形、反語形）	○				○	a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。 e：古典の読解に必要な基本の文法知識を身につけている。	授業態度、提出物、定期考査、小テスト
前期期末考査まで	文章読解①	○物語 「伊勢物語」 ・あづま下り ・筒井筒 ○体系古典文法 ・助動詞① ○問題集	○史話 「十八史略」 ・先従隗始 ○精選漢文 ・句法編 （否定形、反語形、使役形、抑揚形） ○問題集	○			○		a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。 d：習得した文法知識や句形を使って、易しい古文・漢文を読解することができる。	授業態度、提出物、定期考査、小テスト
後期中間考査まで	文章読解②、和歌	○日記 「土佐日記」 ・門出 ・帰京 ○小倉百人一首 ○体系古典文法 ・助動詞② ○問題集	○唐代の詩文 ○史話　「史記」 鶏鳴狗盗 ○唐代の文章 ・雑説 ○精選漢文 ・句法編 （部分否定、全否定、 受身形、　詠嘆形）	○			○		a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。 d：習得した文法知識や句形を使って、易しい古文・漢文を読解することができる。	授業態度、提出物、定期考査、小テスト
後期期末考査まで	文章読解③	○軍記物語 「平家物語」 ・木曾の最期 ○小倉百人一首 ○体系古典文法 ・助詞 ・敬語 ○問題集	○思想 ・「論語」 ・「孟子」 ○精選漢文 ・句法編 （比較形、 限定形、 仮定形） ○問題集	○			○	○	a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。 d：習得した文法知識や句形を使って、易しい古文・漢文を読解することができる。 e：古典の読解に必要な基本の文法知識を身につけている。	授業態度、提出物、定期考査、小テスト

※　表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：話す・聞く能力　　c：書く能力
d：読む能力　　e：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点にのみ○をつけている。